

議会運営委員会の概要

1 6月定例会の提出案件の概要について

- ・総務部長から、資料「令和7年6月定例会提出案件（予定）」により、6月定例会に提出を予定している案件の概要について説明があり、了承された。

【発言概要、質疑等】

(遠藤委員) 契約案件で説明された「衛星通信システム第3世代化工事請負契約」は、県のホームページを見ると、入札が終了し、落札額は約822百万円、県内資本と県外資本の企業が参加し、同額入札の結果、くじ引きで県外企業が落札したようだ。県内拠点の有無もわからず、メンテナンス等に不安を覚えるし、同額ならば県内企業に頑張ってもらいたいが、企業所在地により取扱いに差を設けるなどの考え方はないのか。

⇒(総務部長) 同額入札者が2名以上いたため、地方自治法施行令に基づき、直ちにくじで落札者を決定する必要があるため、電子入札システムでくじ引きを行った。価格競争に入る前であれば、入札参加資格審査や総合評価落札方式での配点など、県内企業の評価手法があるものの、くじ落札の場合については承知をしていないことから、委員の指摘も踏まえ、研究を行っていきたい。

(吉村委員) 新庄志誠館高校の整備予算を、今回の補正で提案することとなった理由はどうか。

⇒(総務部長) 令和7年度当初予算の提案時点では整備方針が決定していなかった。この度、その方針が決まったことを受け、6月補正予算で提案するものである。

(伊藤委員) 新庄志誠館高校の整備予算は、現校舎の一部改築ではなく、新築に向けた予算か。

⇒(総務部長) 体育館など、一部で現在の施設を活用するところもあるが、校舎等は建て替える計画であり、その設計のための予算を計上するものである。

(伊藤委員) これまで、地元にも我々にも全く説明はないが、本当に新築のための予算か。

⇒(教育長) 当初は現校舎を活用するものの、現校舎の老朽化や地元の要望も踏まえ、この度、校舎を新築する方針を決定し、設計の予算を要求したところである。

(伊藤委員) 文教公安常任委員会で審査することではあるが、全く説明がない中、このような形で突然知らされて戸惑っている。地元の要望に対する前向きな対応ではあるものの、地域住民や同窓会を含め、関係者に対してもっと丁寧に説明してもらいたい。

2 6月定例会の会期と日程（案）について

- ・議事調査課長から、資料「令和七年山形県議会六月定例会日程（案）」により説明があり、了承された

3 6月定例会における代表質問、一般質問及び予算特別委員会質疑関係について

- ・議事調査課長から、資料「代表質問、一般質問及び予算特別委員会の質問・質疑者一覧表」により説明があり、発言通告及び質疑者に関する事務局への連絡は、6月13日（金）午後3時までとすることが了承された。

4 その他

(1) 県議会ギャラリーへの作品展示について

- ・政策調査室長から、資料「県議会ギャラリーへの作品展示について」により説明があり、了承された。

(2) 執行部からの報告事項について

①工事請負契約締結に係る議決未了案件について

- ・県土整備部長から、資料「工事請負契約締結に係る議決未了案件について」により説明があった。

②公立学校教職員の懲戒処分について

- ・教育長から、資料「公立学校教職員の懲戒処分について」により説明があった。

(3) その他

- ・田澤議長から、「令和8年度政府の施策等に対する提案」について、議会から提出した意見の概要及び反映状況並びに関係府省への提案活動の状況について報告があった。

【発言概要、質疑等】

(森谷委員) 政府の備蓄米放出に関し、農林水産部長から状況を聞きたい。

(渋間委員長が農林水産部長の入室を許可)

(森谷委員) 今般、競争入札と随意契約により計5回、政府備蓄米が市場へ放出されているが、県内における流通量はどうか。

⇒(農林水産部長) 県内にも販売目的で流入していることは承知しているが、今後の見通しを含め、どこにどの程度流通しているのか、正確には把握していない。

(森谷委員) 私の調べでは、入札の備蓄米は早い段階から5kg3,000円前後で販売されていたが、随意契約の備蓄米は精米を封入する袋の不足から店頭には並んでいないと聞いている。こうした情勢も踏まえ、今後、県は備蓄米にどのように関わっていくのか。

⇒(農林水産部長) 備蓄米の契約に直接関与することはないが、今回延べ60万トンが放出されることから、これまでと違い、需要に応じた量以上の供給が想定されるため、市場の需給状況を見ながら、米の主産地として作付けをどうしていくかを、関係団体とも意見交換しながら進めていくのが県の役割と考えている。

(森谷委員) 農家は既に今年の作付けを終えており、秋の概算金に影響が及ぶようなことがあってはならない。引き続き、状況を把握しながら、しっかり対応してほしい。

(齋藤委員) サクランボの作柄について、予想収穫量が9,100~10,200トンと不作の見込みが発表されたが、現場ではもっと少なくなるのではないかという声もある。今後、補完的な調査もされると聞いているが、今後の見通しはどうか。

⇒(農林水産部長) 今後の天候次第では、まだどうなるかわからない面もあるため、来週、再来週をポイントとして、現場の状況を把握し、また市場における出荷の状況も把握した上で、修正が必要な場合は積極的に情報を発信し、流通に混乱を

生じないように努めていきたい。なお、東根市は確かに平年比で作柄は良くないが、一方、今年は園地や樹ごとのバラつきが激しい傾向にあり、全体像を捉えるのが非常に難しく、予想収穫量も幅を持たせて発表したところである。現場の状況をしっかり把握しながら、適正な情報発信に努めていきたい。

(齋藤委員) 昨年の反省を踏まえ、佐藤錦に偏っていた作柄調査を紅秀峰の比率を高めるなど、現場の実態に応じて対応されたと承知しているが、対象園地を増やしたり、受粉樹の調査を検討したりするなど、調査のさらなる改善に努めてほしい。また、3年連続の不作で意気消沈している生産者を勇気づけるメッセージ、また消費者に対して収量は少なくとも品質は良い旨を知らせるメッセージを知事から発してもらいたい。さらに、生産者を後押しする予算措置も検討してほしいがどうか。

⇒ (農林水産部長) 消費地向けには、6月7日に東京で知事がトップセールスを行い、産地の状況を自ら説明するほか、SNS等も活用して積極的に情報発信していく。産地向けには、6月6日のフルーツ150周年記念メモリアルフェスタで、今後の50年先を見据えた産地づくりに取り組んでいくというメッセージを知事から発信してもらおう予定だ。ただ、産地づくりは県だけでできるものではないことから、JAや市町村とも連携し、役割分担しながらしっかりと取り組んでいく。

6 次回議運開催日時

6月12日(木) 午前10時

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

令和7年6月5日（木）

午 前 10 時

- 1 6月定例会提出案件の概要について
- 2 6月定例会の会期と日程（案）について
- 3 6月定例会における代表質問、一般質問及び予算特別委員会質疑関係について
- 4 その他
- 5 次回議運開催日時
6月12日（木）午前10時

(令和7年6月5日議会運営委員会資料)

令和7年6月定例会提出案件（予定）

1	予 算 案 件	2 件
	うち一般会計補正予算 補正総額	1, 103百万円
	補正後累計	676, 522百万円
2	条 例 案 件	11 件
3	契 約 案 件	2 件
4	そ の 他 案 件	7 件
5	専 決 処 分 案 件	2 件
6	人 事 案 件	2 件
	合 計	26 件

(別紙)

令和7年6月定例会 一般会計補正予算案概要

1	「新庄志誠館高校」新校舎の整備	89百万円
	・ 新校舎の基本・実施設計	
2	教育費負担軽減の国庫補助制度の拡充に伴う対応	573百万円
	・ 高校生等を対象とした就学支援金制度で所得制限を受けている世帯に対する支援等	
3	その他	441百万円

(主なもの)

・	選挙関連法一部改正に伴う参院選経費の増額	36百万円
・	国からの交付決定に伴う国勢調査経費の増額	35百万円
・	令和6年度国補正予算に対応した農業者への支援	295百万円
・	山腹崩壊に係る災害復旧（米沢市大字下小菅地内）	32百万円
・	飯豊少年自然の家の屋根改修	22百万円

補正総額 1,103百万円

補正後累計 676,522百万円

七・一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	六・十二	月日	
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜	
各常任委員長報告、採決、閉会	休会	休会	休会	休会	休会	予算特別委員長報告 議案・請願各常任委員会付託	休会	休会	休会	休会	休会	休会(議案調査)	質疑及び一般質問	質疑及び一般質問(代表質問)	休会(協議調整)	休会	休会	休会(議案調査)	開会、議案上程、知事説明	本 会 議	
午前十時	午前十時			午前十時		本会議終了後	午前十時	午前十時	午前十時	午前十時	午前十時				午前十時			本会議終了後	午前十時	時刻	
議運	再生可能エネルギー活用・地域経済活性化策	若者定着対策	防災減災・災害に強い県土づくり対策	建設	商工労働観光	農林水産	厚生環境	文教公安	総務	各常任委員会調整に おける意見調整	議運	予算	山形県等検討会	予算	予算			議	議案説明会	議	内容
議運委員会室	第二委員会室	第六委員会室	第一委員会室	第三委員会室	第四委員会室	第五委員会室	第六委員会室	第二委員会室	第一委員会室	各委員会室	議運委員会室	予算委員会室	議運委員会室	予算委員会室				議運委員会室	予算委員会室	議運委員会室	会場

代表質問、一般質問及び予算特別委員会の質問・質疑者一覧表

(令和7年6月定例会)

代表質問

月 日	質 問 者	質問時間 (答弁含み)
6月17日(火)	(自由民主党) 議員	80分以内
	(県政クラブ) 議員	60分以内

一般質問

月 日	質 問 者	質問時間 (答弁含み)
6月18日(水)	(自由民主党) 議員	60分以内
	(県政クラブ) 議員	60分以内
	(自由民主党) 議員	60分以内

予算特別委員会質疑

月 日	質 疑 者	質疑時間 (答弁含み)
6月20日(金)	(自由民主党) 委員	60分以内
	(日本共産党山形県議団) 委員	60分以内
	(自由民主党) 委員	60分以内
6月23日(月)	(自由民主党) 委員	60分以内
	(県政クラブ) 委員	60分以内
	(自由民主党) 委員	60分以内
6月24日(火)	(県政クラブ) 委員	60分以内
	(自由民主党) 委員	60分以内

【発言通告及び質疑者連絡日】 6月13日(金) 午後3時

県議会ギャラリーへの作品展示について

1 展示期間

令和7年6月12日（木）～7月1日（火）（土日を除く。）

2 展示場所

議会棟1階ロビー

3 展示者

山形大学「ヤマガタSTEAMアカデミー」

4 展示内容

ヤマガタSTEAMアカデミーの受講生（小学5年生～中学3年生）が、令和6年度に取り組んだ課題研究の成果についてのパネル展示 等

※STEAM（スティーム）

Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念で、探究と創造のサイクルを生み出す分野横断的な学び

工事請負契約締結に係る議決未了案件について

昨年度、工事請負契約の変更に係る議決未了案件が判明し、令和5年度以前の過去30年分についても追加調査を進めてまいりました。

その結果、当部において新たに4件の未了案件が判明したことから、契約締結の追認をいただきたく、今定例会に所要の議案の提出を予定しております。

今般の事案を踏まえ、システム改修などの再発防止策を講じたところであり、確実に適正な事務の執行に万全を期してまいります。

1 議決未了案件

(1) 河川整備補助事業大旦川築堤護岸工事（当初契約：R3年度→変更契約：R4年度）

- ① 工事場所 村山市大字河島地内
- ② 工期 着工 令和3年10月8日
完成 令和5年2月28日
- ③ 契約の相手方 村山市大字名取1079番地の2
株式会社矢萩土建 代表取締役 矢萩 一志
- ④ 契約変更の内容

	変更前	変更後（契約年月日）
契約金額	368,038,000円	<u>542,274,700円</u> (R5.1.23)

⑤ 変更の理由

工事で発生した土砂を盛土材として再利用するため土質試験を実施したところ、堤防盛土へ流用するには土質改良が必要なことが判明し、土砂混合工等の増工を行ったもの。

(2) 河川整備補助事業湯尻川護岸及び排水樋門工事（当初契約：R3年度→変更契約：R4年度）

- ① 工事場所 鶴岡市白山外 地内
- ② 工期 着工 令和3年9月9日
完成 令和5年3月31日
- ③ 契約の相手方 鶴岡市東新斎町7番61号
株式会社佐藤工務 代表取締役 佐藤 友和
- ④ 契約変更の内容

	変更前	変更後（契約年月日）
契約金額	485,617,000円	<u>605,063,800円</u> (R5.3.15)

⑤ 変更の理由

工事で発生した残土の搬出先について、当初予定より遠方に搬出することとなったため増工を行ったもの。

(3) 河川整備補助事業大旦川連絡水路逆流防止施設工事 (当初契約: R3 年度→変更契約: R5 年度)

- ① 工 事 場 所 村山市大字河島地内
- ② 工 期 着工 令和4年4月1日
完成 令和5年9月15日
- ③ 契 約 の 相 手 方 村山市大字名取1079番地の2
株式会社矢萩土建 代表取締役 矢萩 翔一
- ④ 契 約 変 更 の 内 容

	変更前	変更後 (契約年月日)
契約金額	452,096,700 円	515,077,200 円 (R5.8.1)

- ⑤ 変 更 の 理 由
施工箇所の掘削において、想定以上の湧水が確認され、通常の掘削での施工が困難であるため、鋼矢板による締切を増工したものの。

(4) 河川整備補助事業大旦川築堤護岸工事 (当初契約: R4 年度→変更契約: R5 年度)

- ① 工 事 場 所 村山市大字河島地内
- ② 工 期 着工 令和4年8月9日
完成 令和5年11月30日
- ③ 契 約 の 相 手 方 村山市大字名取1079番地の2
株式会社矢萩土建 代表取締役 矢萩 翔一
- ④ 契 約 変 更 の 内 容

	変更前	変更後 (契約年月日)
契約金額	269,500,000 円	514,423,800 円 (R5.9.15)

- ⑤ 変 更 の 理 由
河底の掘削に必要な仮設工事の実施にあたり、河底の試掘をしたところ、土質が極めて軟弱であるため、盛土による施工が困難であることが判明し、鋼矢板による締切を増工したものの。

2 再発防止策

- (1) 発注システムの改修
議決を要する案件の場合は、所要の手続きを求める画面表示機能を追加
- (2) 契約に係るマニュアルの改定
議決を要する案件の場合は、本庁との事前協議によるダブルチェックを追加
- (3) 担当者会議等における周知徹底
改定後のマニュアルを用いた担当職員向けの研修の実施

令和7年6月5日
教 育 局

公立学校教職員の懲戒処分について

1 被処分者

特別支援学校（置賜地区）	学校職員	20歳代	〔免職〕
管理監督責任	校長	50歳代	〔減給10分の1 3月〕
管理監督責任	学校職員	60歳代	〔減給10分の1 3月〕

2 事案の概要

令和6年11月から令和7年3月にかけて、保護者から集めた学校徴収金などから複数回にわたり計1,194,508円を着服した。

3 処分年月日

令和7年5月15日

4 本事案を受けた対応

再発防止に向け、令和7年5月15日付けで全県立学校に対し、公金等の適正管理の徹底に関する通知を発出するとともに、同月23日に全県立学校の管理職を対象とする会議を開催し、管理職によるマネジメント及び学校内における現金の適正な取扱いの徹底を指示指導した。